

報道関係者各位

会 社 名 株 式 会 社 カ プ コ ン  
代 表 者 名 代表取締役社長 辻本春弘  
(コード番号：9697 東証プライム)  
連 絡 先 広 報 I R 室  
電 話 番 号 ( 0 6 ) - 6 9 2 0 - 3 6 2 3

**2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）決算の連結業績は、  
前年同期比で増収増益、通期計画に対し順調に進捗  
～ シリーズ最新作を起点に過去作も伸長、販売の好循環が収益拡大をけん引 ～**

株式会社カプコンの 2027 年 3 月期中間連結業績（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）は、売上高は 1,208 億 87 百万円（前年同期比 49.0%増）、営業利益は 607 億 69 百万円（前年同期比 54.5%増）、経常利益は 612 億 12 百万円（前年同期比 67.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は 430 億 83 百万円（前年同期比 56.6%増）となりました。

当中間期は、中核事業であるデジタルコンテンツ事業において、20 年ぶりのシリーズ最新作『鬼武者 Way of the Sword』が、ゲームショウで 2 冠を達成するなど、優れたゲームプレイ体験が評価され、販売本数 170 万本を突破しました。リピータ作においては、「バイオハザード」シリーズの最新作が引き続きグローバルに幅広いユーザーから支持を集めたことに加え、価格施策の寄与により過去作も続伸しました。これにより、当中間期の販売本数は 3,686 万本と、前年同期の 2,385 万本を上回り、業績をけん引しました。

アミューズメント施設事業では、既存店の堅実な運営および新業態の出店効果が、アミューズメント機器事業では新機種の販売が、それぞれ収益に寄与しました。その他事業では、10 月に全世界同時公開した実写映画『ストリートファイター／ザ・ムービー』の話題喚起をはじめとする、当社 IP を活用した映像コンテンツの展開、グローバル規模での e スポーツ大会の開催、ならびにキャラクターグッズや各種イベントなどの展開を通じ、積極的な IP の認知度拡大に努めました。これらの取り組みにより、当中間期は通期計画に対し順調に進捗しております。

なお、2027 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては、2026 年 5 月 13 日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

1. 2027 年 3 月期中間期 連結業績

|                | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に帰属する<br>中間純利益 | 1 株当たり<br>中間純利益 |
|----------------|---------|--------|--------|---------------------|-----------------|
|                | 百万円     | 百万円    | 百万円    | 百万円                 | 円 銭             |
| 2027 年 3 月期中間期 | 120,887 | 60,769 | 61,212 | 43,083              | 102.99          |
| 2026 年 3 月期中間期 | 81,152  | 39,333 | 36,543 | 27,514              | 65.78           |

2. 2027 年 3 月期 連結業績予想

|             | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-------------|---------|--------|--------|---------------------|-----------------|
|             | 百万円     | 百万円    | 百万円    | 百万円                 | 円 銭             |
| 2027 年 3 月期 | 210,000 | 83,000 | 83,000 | 58,000              | 138.65          |

（注）当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無